



児童発達支援事業

放課後等デイサービス

どんぐりだより

2023年6月発行 Vol.7

社会福祉法人大和しらかし会

児童発達支援事業 どんぐり

〒242-0006 大和市南林南5-1-24-3

Tel/Fax: 046(272)1009

ジメジメとムシムシした季節になってきました。天気的气圧が変化すると体調不良を感じる人もすくなくないかもしれません。最近では「気象病」「天気痛」と一般的に言われるようになってきています。特に子どもは些細な変化にも敏感に反応しやすいため、低気圧や台風が近づいてくると「なんだか落ち着かない」「ぐったりしている」「指示が入りにくい」などの変化が出やすいです。日本の夏は、湿度が高いため、「寝るのに時間がかかるようになった」「いつもより早い時間に起きる」といったことも起こりやすいです。①室内温度を少し低めに設定、②体温調整しやすい服装や薄手の素材、③保冷剤や接触冷感ツールの活用などがおすすめです。これからやってくる夏本番と上手につきあってみましょう！



どんぐり ちょこっとコラム

児童発達支援事業(就学前)と放課後等デイサービス事業(小学1年生～3年生)の両方で大切にしていることの1つとして、荷物管理があります。自分の荷物を自分で持ってきて、所定の位置にしまうことです。自分で荷物をそろえること、自分で持つこと、片付けることは、大人では当たり前かもしれませんが、子どもにとっては日々の生活のなかで取り組むことで身につく1つのスキルです。

“自分のものは自分で管理する”意識は将来の自立に向けてとても重要なポイントです。始めは自分の荷物を持つ、背負うからスタートしましょう。それがクリアできたら、リュックを決められた位置にしまいましょう(片づけの練習にも繋がります)。その次は荷物を出す(片づけや指先の動作も必要です)。またその次は荷物を入れる、用意する(見通しの練習)など、お子さんによって、目標にしている部分は様々ですが、“自分のものはできる範囲で自分で責任を持って取り組む”力に繋がっています。

「もし、荷物をわすれてしまったら…」それも、コミュニケーションの1つのよい練習になります。「忘れちゃいました」と周囲に伝えられるか、忘れたことを自分で気がつけるか…などなど。

「玩具が片付けられない!」「すぐ物をなくす!」「宿題を忘れる」なども、荷物管理と共通する部分がたくさんあります。お困りのことや気になっていることがありましたら、お気軽に職員までお声かけください。子どもやご家族の生活がより豊かで自立的に過ごせるヒントを一緒に考えていきたいと思っています。



活動報告

児童発達支援事業・放課後等デイサービスでの活動を

一部ご紹介します。

～就学前(児童発達支援事業)～

たくさんよごしてみよう！フィンガーペインティング



絵具を手いっぱいにつけてあそぶフィンガーペインティングは、手や衣類が汚れるので、家庭ではなかなか挑戦しづらい活動です。そんな活動こそ、どんぐりで経験してみましよう！！どのお子さんも時間と大きな紙をめいっぱい使って楽しんでいました。

指先を使う経験や色を混ぜ合わせる因果関係、筆記用具よりも簡単に描けるため空間認識にも繋がります。終わった後は、石鹸をつけてきちんと絵具を洗い落とすことも、日々の手洗いの見直しです。

感触が苦手なお子さんは、スタンプや筆を使って自然と道具の操作をする経験にもなります。

～小学生(放課後等デイサービス)～

自分だけのオリジナルうちわづくり

5月～6月にかけて、うちわづくりに挑戦しました！

全ての工程数は全部で12個！！かなりのボリュームです。

お子さんに応じて、見やすい手順書を用意して“ひとりでできる”体験をしています。

和紙に絵具をふくませると、イメージできない模様が出てきて

「うわ～きれい」「ちょっと渋くなっちゃった」など、色々な感想を口にしながら作業を進めていました。

30分～40分ほどの作業時間もアツという間の集中です。ハサミがうまく切れないと「ちょっと休憩」と

席を離れたり、「これ苦手。手伝ってください」と上手に職員に伝える姿がありました。制作は“作る”だけ

が目的ではありません。うまくいかないときにどのように対処するかを事前に確認し“自分でうまく対処

できた”経験も大切にしています。作ったうちわをご家庭で活用してください～☆



お知らせ

しらかし会では、障がいのある方の具体的な対応・個性や才能の伸ばし方などの講座を開催しています。年間を通して実施している【★自閉症療育講座★】は今年からオンライン講座の見逃し配信があります。講座のどの回を視聴いただいても生活に役立つ内容で必見です！！

講座のお知らせはQRコードから見るができます。

